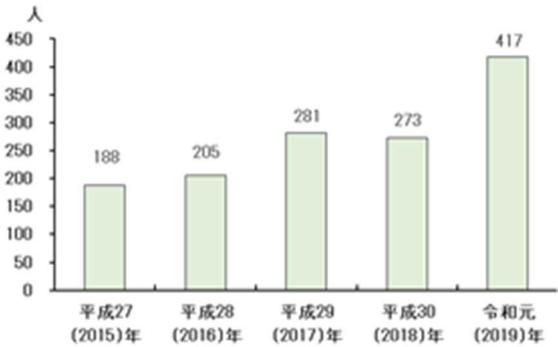
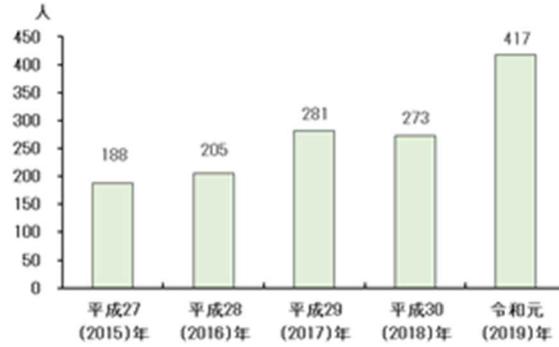


成田市地域公共交通計画（案）修正箇所一覧表

頁	修正前	修正後
目次	2.3.2 免許返納者状況	2.3.2 運転免許証返納者状況
1	<p>急速な少子高齢化・人口減少時代の到来や移動手段に関する国民の<u>選考の変化等</u>の社会経済情勢の変化に伴い、地域公共交通の利用者は長期的に減少傾向にあります。</p> <p>(略)</p> <p>こうした地域公共交通に対する社会的要請に的確に応えるため、公共交通事業者、住民・利用者、学識経験者をはじめとする地域の関係者が知恵を出し合い、合意の下で、<u>路線やダイヤ・運賃の見直しや新たな技術の活用</u>により地域公共交通の改善を図りつつ、公共交通のみでは移動ニーズに対応しきれない場合には、スクールバスや福祉輸送、商業施設の送迎サービスなど地域の輸送資源を総動員しながら、地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保に努め、その実現に向けて令和2(2020)年11月に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の一部が改正され、施行されました。</p> <p>本市の公共交通は、<u>鉄道、路線バスのほか</u>、市民の生活交通手段を確保するため、コミュニティバスや高齢者の外出支援としてオンデマンド交通（※）を運行しています。</p> <p>(略)</p> <p>本市では、持続可能な<u>公共交通体系の再構築</u>に加えて、地域旅客運送サービスの提供の確保や公共交通の効率性と利便性の向上を図るため、公共交通を地域全体で支える体制づくりやモビリティ・マネジメント（※）等の利用促進策など、地域の望ましい公共交通のあり方や方向性を示す「成田市地域公共交通計画」を策定するものです。</p>	<p>急速な少子高齢化・人口減少時代の到来や移動手段に関する国民の<u>選好の多様化等</u>の社会経済情勢の変化に伴い、地域公共交通の利用者は長期的に減少傾向にあります。</p> <p>(略)</p> <p>こうした地域公共交通に対する社会的要請に的確に応えるため、公共交通事業者、住民・利用者、学識経験者をはじめとする地域の関係者が知恵を出し合い、合意の下で、<u>路線、ダイヤ及び運賃の見直しや、新たな技術の活用</u>により地域公共交通の改善を図りつつ、公共交通のみでは移動ニーズに対応しきれない場合には、スクールバスや福祉輸送、商業施設の送迎サービスなど地域の輸送資源を総動員しながら、地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保に努め、その実現に向けて令和2(2020)年11月に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の一部が改正され、施行されました。</p> <p>本市の公共交通は、<u>鉄道、路線バス及びタクシーのほか</u>、市民の生活交通手段を確保するため、コミュニティバスや高齢者の外出支援としてオンデマンド交通（※）を運行しています。</p> <p>(略)</p> <p>本市では、持続可能な<u>公共交通の構築</u>に加えて、地域旅客運送サービスの提供の確保や公共交通の効率性と利便性の向上を図るため、公共交通を地域全体で支える体制づくりやモビリティ・マネジメント（※）等の利用促進策など、地域の望ましい公共交通のあり方や方向性を示す「成田市地域公共交通計画」を策定するものです。</p>

頁	修正前	修正後
15	<p>2.2.5.2 地域別将来人口推計値（令和 22（2040）年）</p> <p>令和 22（2040）年の人口は、現状と同様、並木町、飯田町、公津の杜 4 丁目が多いと推計されています。</p>	<p>2.2.5.2 地域別将来人口推計値（令和 22（2040）年）</p> <p>令和 22（2040）年の人口は、現状と同様、並木町、飯田町、公津の杜 4 丁目<u>など</u>が多いと推計されています。</p>
18	<p>2.2.7.2 医療施設</p> <p>JR 成田駅及び京成成田駅周辺、公津の杜駅周辺、成田ニュータウンに医療施設が集中しており、多くがバス停 300m 圏内に<u>あります</u>。</p>	<p>2.2.7.2 医療施設</p> <p>JR 成田駅及び京成成田駅周辺、公津の杜駅周辺、成田ニュータウンに医療施設が集中しており、多くがバス停 300m 圏内に<u>立地して</u>います。</p>
22	<p>◆成田市へ通勤・通学する就業者・通学者の居住地</p> <p>成田市内での通勤・通学者が 1 万人以上と最も多くなっています。隣接地域以外の多くの地域から、成田市へ通勤・通学する<u>流動</u>が多くなっています。</p>	<p>◆成田市へ通勤・通学する就業者・通学者の居住地</p> <p>成田市内での通勤・通学者が 1 万人以上と最も多くなっています。隣接地域以外の多くの地域から、成田市へ通勤・通学する<u>流動人口</u>が多くなっています。</p>
23	<p>2.3.2 免許返納者状況</p> <p><u>運転免許返納者数</u>は、増加傾向にあります。</p>  <p>図 28 免許返納者件数（12 月末時点）</p> <p>注）<u>運転免許返納者数</u>は成田警察署へ返納された数であり、成田市民以外も含まれる。</p>	<p>2.3.2 <u>運転免許証返納者</u>状況</p> <p><u>運転免許証返納者数</u>は、増加傾向にあります。</p>  <p>図 28 <u>運転免許証返納者</u>件数（12 月末時点）</p> <p>注）<u>運転免許証返納者数</u>は成田警察署へ返納された数であり、成田市民以外も含まれる。</p>
42	<p>2.4.8.1 年間利用者数</p> <p><u>しもふさ循環ルート</u>の利用者数は減少が続いていますが、<u>その他のルート</u>は概ね横ばいとなっています。</p>	<p>2.4.8.1 年間利用者数</p> <p><u>（削除）</u></p>
55	<p>最も登録率の高い<u>地域</u>は豊住の 35.3%、最も低い地区は公津の 15.2%となっています。</p>	<p>最も登録率の高い<u>地区</u>は豊住の 35.3%、最も低い地区は公津の 15.2%となっています。</p>

頁	修正前	修正後
64	<p>立地適正化計画においては、JR 成田駅・京成成田駅周辺の中心市街地や成田空港周辺を高次の生活サービスを提供する「中心拠点」や「都市拠点」と位置づけ、各地区に日常生活に必要な外出がある程度できる「<u>地域拠点</u>」を位置づけており、基盤施設の整備を図りつつ、中心拠点や都市拠点間については、都市幹線軸として、公共交通網の充実等を図ることが必要となります。</p>	<p>立地適正化計画においては、JR 成田駅・京成成田駅周辺の中心市街地や成田空港周辺を高次の生活サービスを提供する「中心拠点」や「都市拠点」と位置づけ、各地区に日常生活に必要な<u>一定のサービスを提供する「生活拠点</u>」を位置づけており、基盤施設の整備を図りつつ、中心拠点や都市拠点間については、都市幹線軸として、公共交通網の充実等を図ることが必要となります。</p>
65	<p>4.1.2 地域区分と公共交通の基本的な考え方 本市では“市街地”“郊外地”ごとに人口、地勢等の違いから、公共交通に対する需要が異なります。このため、地域区分の定義及び基本的な考え方を以下のとおり整理し、地域の特性に応じた持続可能な<u>公共交通体系</u>の構築に取り組みます。</p>	<p>4.1.2 地域区分と公共交通の基本的な考え方 本市では“市街地”“郊外地”ごとに人口、地勢等の違いから、公共交通に対する需要が異なります。このため、地域区分の定義及び基本的な考え方を以下のとおり整理し、地域の特性に応じた持続可能な<u>公共交通</u>の構築に取り組みます。</p>
71	<p>施策概要 コミュニティバスの共通ルートの<u>問題点</u>に対する対応及び市民からのサークルバス（市街地を周遊するバス）の復活要望を踏まえて、循環型バスの運行を検討します。</p>	<p>施策概要 コミュニティバスの共通ルートにおける課題及び市民からのサークルバス（市街地を周遊するバス）の復活要望を踏まえて、循環型バスの運行を検討します。</p>
73	<p>施策概要 高齢者の外出を支援する福祉施策として実証実験が続いていることから、見直しを検討します。</p>	<p>施策概要 高齢者の外出を支援する福祉施策として実証実験が続いていることから、<u>オンデマンド交通</u>の見直しを検討します。</p>
76	<p>施策概要 主要な交通結節点において、バス待ち環境などの改善検討及び<u>待合機能を充実させる</u>など、公共交通の使いやすい環境改善に努めます。</p>	<p>施策概要 主要な交通結節点において、バス待ち環境などの改善検討及び<u>待合機能の充実</u>など、公共交通の使いやすい環境改善に努めます。</p>

頁	修正前	修正後
78	<p>【今後の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際医療福祉大学成田病院が令和2年3月16日に開院し、<u>令和3年度</u>に新生成田市場が開業予定となっています。また、吉倉地区においては、鉄道の新駅構想もあります。これらは、まちづくりにより、新たな交通結節点となるので、誰もがわかりやすい案内サインの整備やバス待ち環境などを整備します。 ・新生成田市場に勤める従業員や、一般来場客の交通手段の確保のため、令和3年11月1日から、市場と成田空港を結ぶシャトルバスを<u>運行します</u>。1年間は実証実験とし、利用状況を調査していきます。 	<p>【今後の取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際医療福祉大学成田病院が令和2年3月16日に開院し、<u>令和4年1月20日</u>に新生成田市場が開業予定となっています。また、吉倉地区においては、鉄道の新駅構想もあります。これらは、まちづくりにより、新たな交通結節点となるので、誰もがわかりやすい案内サインの整備やバス待ち環境などを整備します。 ・新生成田市場に勤める従業員や、一般来場客の交通手段の確保のため、令和3年11月1日から、市場と成田空港を結ぶシャトルバスを<u>運行しています</u>。1年間は実証実験とし、利用状況を調査していきます。
93	<p>6.2.3 多様な関係者との連携、協働</p> <p>本計画においては道路運送法に基づく許可・登録を要する運送の態様（いわゆる“公共交通”）を対象としていますが、<u>教育分野や福祉分野など現在、特定輸送として運行している交通資源との連携も含め、関係者による検討を行っていく必要があります。</u></p>	<p>6.2.3 多様な関係者との連携、協働</p> <p>本計画においては道路運送法に基づく許可・登録を要する運送の態様（いわゆる“公共交通”）を<u>基幹交通とし、スクールバス、福祉タクシーなどの交通資源との連携も含め、関係者による検討を行っていく必要があります。</u></p>